



横浜市立岡村小学校・学校だより R2.4.7 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

*子どもたちへ

いま じかん たいせつ
今の時間を大切にしよう。できることを、やれることを、ていねいに。

校長 齋藤 有厚

れいわ ねんど はじ しん にゅうがく
令和2年度が始まりました。新1年生のみなさん、入学、おめでとうございます。そして、
新2年生、新3年生、新4年生、新5年生、新6年生のみなさん、しんきゅう
進級、おめでとうございます。
い あす やく しゅうかん りん じきゅうぎょう ざんねん
とは言うものの、明日から、約2週間の臨時休業となります。とても残念です。

もっと たいせつ しんがた かんせんしょう
まず、最も大切なことは、「新型コロナウイルスによる感染症」にかからないことです。
そのための行動基準を守って、過ごしてください。「こまめに石けんやアルコール消毒液な
て あら せき しょうじょう ちやくよう ふようふきゅう がいしゅつ さ
どで手を洗う」「咳などの症状があるときはマスクを着用する」「不要不急の外出は避け
る」「発熱等の風邪の症状が見られたら、出かかずに経過をみる。主治医に相談する」など。

つぎ
次に、大切なことは、休業中の生活や学習についてです。予定では、2週間後に、学校が
さいかい
再開します。そのことをイメージし、安全・安心で、規則正しい生活等を心がけてください。

たと とじ おこな はやねはやお き じかん うんどう
例えば、「戸締りをしっかり行う」「早寝早起きする」「決めた時間に運動する」「決めた時間
に学習する」「できるお手伝いはする」「遊ぶ時間を決める（遊び過ぎない）」など。

ついでち はや たの
一日も早い学校再開を楽しみにして、今の時間を大切に過ごしてください。

「*子どもたちへ」—学校だよりの巻頭文は、保護者や地域の皆様に、学校のことをお伝えすることを目的に作成しています。しかし、残念なことに、昨年度末から続いています臨時休業が8日（水）から延長されることとなりました。本日の始業式等も、短縮バージョン（校長講話も短くなど）での実施が求められました。そんな経過から、学校だより春休み号に引続き、この紙面は、まず、子どもたちへのメッセージを書くこととしました。新1年生には、保護者様が、咀嚼して読み聞かせてください。

保護者や地域の皆様へ

今年も、オリンピック・パラリンピック教育実施校としてアクティブに

校長 齋藤 有厚

令和2年度がスタートしました。入学式、そして、始業式は実施できたものの、新型コロナウイルスによる感染症の感染防止・拡大防止の休業は、横浜市教育委員会の指導の下、明日、4月8日（水）から4月20日まで延長されました。首都圏の感染拡大の状況や県教育委員会の休業延長の判断が反映されたものかと思います。とは言え、本校の学区を含む地域に、発症者の報告はありません。保護者や地域の皆様の意識の高さを感じる次第です。子どもたちが安心・安全に学校へ通学できる状況を生むために、引き続き、感染防止・拡大防止の行動基準をご家族で遵守いただけますようお願いいたします。また、本日、別紙の「新型コロナウイルス感染症の感染防止・拡大防止のための横浜市教育委員会通知に基づく本校の教育活動等について（*第6報）」でお知らせするとおり、休業期間中に、運動場開放や登校日の設定等、様々な取組を実施します。休業中の子どもたちの心身の健康状況が気にかかるところです。参加の基準等をしっかり守り、上手に利用いただけますようお願いいたします。

さて、令和2年度、佐藤俊英副校長を始め、別頁に記したように多くの教職員が異動・離任・退職等しました。長きに渡り、ご支援いただきました保護者や地域の皆様に深く感謝いたします。また、石渡範子副校長を始め新しい教職員が着任しました。昨年度の中期学校経営方針に基づく評価（振り返り）を基に、今までの成果を継続し、反省した点をプラスに変える方策を検討しながら、日々の教育活動の充実を目指し、新チーム岡村2020（教職員集団）、一丸となって努力していく所存です。どうぞ、昨年度同様に、本校の教育活動へのご理解・ご支援のほど、よろしく申し上げます。

ところで、本年度も、横浜市教育委員会からオリンピック・パラリンピック教育実施校の委嘱（3年目）をいただきました。昨年度までに、オリンピック、パラリンピアンによる特別教室（陸上、体操、車いすバスケットボール、車いすラグビー）を4回（平成30年度、令和元年度）実施しました。岡村オリンピックの見直し（万国旗の作成、競技・演技のピクトグラムの試作、聖火台や優勝カップへのミライトア・ソメイテイの活用、全校演技としてオリ・パラ音頭の実施など）を行いました。また、オリンピックやパラリンピアンの伝記等を活用した道徳の授業づくりの開発・精選に取り組みました。さらに、わくわくフェスティバルでは、多くの学年・学級が、オリンピックやパラリンピックに関わるテーマを取り上げ、生活科やかがやきタイム（『横浜の時間』）で取り組んだことを発表しました。そうした体験を通して、子どもたちは、多くのことを学ぶことができました。将来への夢や希望を膨らませた子どもも多かったのではないかと思います。

“コロナパニック”というべき状況下、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催も延長され、学校再開への道筋も見えない厳しい現実です。しかし、学校は、感染が終息し、子どもたちの元気な笑い声に戻ってくるための、オリ・パラ教育が示す「オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境等からなる4×4の取組」等を参考として、子どもたちが本気になって学ぶことのできる授業づくりを準備します。保護者や地域の皆様と一緒に、『心も体も元気な岡村っ子』の育成を目指します。